

議会の視点・論点

Q 個人番号カードに関するセキュリティ対策はどのように行っているか。

A 国からの指針等に基づきセキュリティ対策をしている。パソコンについても、専用回線を利用しており外部からの接続が出来ないような仕組みとなっている。また、人的による情報漏えいが起きないように、職員への研修等を行い対策を講じていく。

(総務財政課)



Q インターネットに接続されたパソコンのネットワーク上でマイナンバーを扱うことはあるのか。

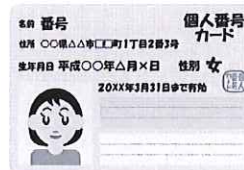
A 通常のインターネット回線とは別の専用回線上での運用となり、一般のインターネット上のシステムの中で運用することはない。

(総務財政課)



Q 個人番号カードの現在の申請状況は。

A 5月10日現在、申請件数が410件で内、窓口申請186件、郵送・インターネット申請が224件となっている。また、申請410件の内、カード発行済みが380件、作成中が28件、取り止めが2件となっている。(総務財政課)



Q 個人番号カード交付事業費補助金は何年位続くものか。

A 全国の自治体が、個人番号カードの発行・作成については、地方公共団体情報システム機構が行っており負担金として支払いをしている。負担金として支払った分については、国から補助金として交付されています。個人番号カード制度のある当面の間は、引き続き同じような仕組みで行われると思います。

(総務財政課)

Q 現在、町内9か所にドクターヘリの着陸ポイントがあるが、着陸ポイントを増設することはできないか。

A 着陸ポイントの増設に向けては、検討課題として各関係機関との協議の中で問題提起をしていく。

(町長)



Q ドクターヘリの運航状況はどうなっているか。また、隣接町が依頼したドクターヘリが今金町の着陸ポイントを利用することは可能か。

A 平成27年度の実績については、年間15回(11月~3月7件、4月~10月8件)運航されている。着陸ポイントについては、消防団の連絡により利用は可能である。(保健福祉課)



議会・委員会を傍聴しましょう！



役場1階ホールでライブ中継をご覧いただけます。

議会では、定例会と各常任委員会も原則公開しておりますので、是非傍聴してください。

※日程等は事務局にご確認ください。

※第3回定例会開催が近くなりましたら、ホームページや新聞折り込みでお知らせいたします。

Q 昨年度、個人より町へ石器の寄贈が27点ありましたが、町内の出土先の調査は国に申請しているのか。また、石器については、出土先の名所等の詳細を添付し旧石器文化館へ展示していただきたい。

A 出土先については、農道工事や農地造成によって発掘現場が既に消滅しており、今後2次的な発掘調査等は現場では出来ない状況にある。展示については、広く町民や歴史に興味がある方々に紹介できるように早急に配慮していきたいと思います。(教育委員会)

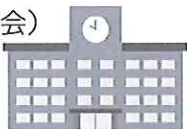
Q 臨時福祉給付金の住民に対する周知はどのように行っているのか。

A 全世帯に対し通知を行っている。多くの方々に申請していただくために、民生委員やケアマネージャー等にも協力をお願いしている。申請に関する電話相談にも、丁寧に対応しますので、まずは、申請をしていただきたいと思います。(保健福祉課)

お知らせ

Q 今金中学校の耐力度調査はいつ実施して、いつ結果がでるのか。

A 実施については予算が議決され次第業者へ発注し、極力早くに結果がでるように進めていきたい。(教育委員会)



Q 教育推進自治体応援事業費委託金とはどのようなものか。

A 昨年度から2カ年で国の委託を受けて行っている事業で今金小学校・種川小学校で実施しているICT活用モデル事業に係る経費となります。(教育委員会)



Q ホテルいまかねの宿泊者は以前あったからんどの入浴券1枚で何回も入浴が出来ていたが、現在は入浴が1回となっていると聞いたが。

A 昨年度、ホテルいまかねとの協議の中で、宿泊者の入浴については入浴券1枚につき1回とした。(まちづくり推進課)



Q 国土交通省で打ち出しているバス路線の補助金の削減について、瀬棚線のバスについても直接影響があるのか。

A 函館バスにも状況について確認しましたが、まだ具体性が全くなく、国が描いている段階であり、削減方法をどう行かを議論しているようです。情報が出ましたら速やかに対応をするなど議会にも報告したいと思います。(町長)



Q 今金町自治制施行120年・町制施行70周年記念事業について、ふるさと創生基金を活用予定としているが、熊本で震災もあったことから、災害に対する公共施設の整備調査を併せて行うことは出来ないか。

A 今回の記念事業はソフト面の事業となり、施設整備はハード面となることから、施設整備を行う場合には、ふるさと創生基金ではなく、公共施設整備基金や財政調整基金での対応となる。(まちづくり総合戦略室)

Q 交通安全設備設置業務委託料についてはどのようなものか。

A 道道今金北檜山線と町道利別大橋線の交差点では接触事故等あり、信号機の設置ができないことから、事故防止のため、各看板にセンサー式の回転灯を設置し、車両が接近した際に回転灯を回転させ、注意喚起をするものです。
(まちづくり推進課)

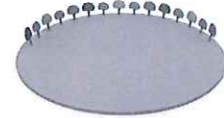
Q 植物工場の誘致先について、当初の金原地区から美利河地区へ変更された経緯について、町民への説明が必要ではないか。

A 町民に対しては、タウンミーティングを開催し、なぜ、金原地区から美利河地区へ変更したのか経過を含めて説明する予定である。
(副町長)



Q 美利河地区の町有地を植物工場へ3か所貸し付けするとあるが、貸し付けについては有償か無償か。

A 2か所は有償である。1か所については、まだ明確に貸し付けが決まっていないが、貸し付ける場合は同じように有償となる。
(総務財政課)



Q 今金町には今金町企業立地促進条例があるが、植物工場の誘致はこの条例とは関係ないものなのか。

A 植物工場の誘致については、この条例の該当となる。この条例による事業所への助成は、投資額1000万円以上の企業に対し、土地・建物の固定資産税相当額3年分及び常時雇用者1名につき年間30万円を3年間助成する。
(まちづくり推進課)

Q 今金町は3年間で植物工場に対し、7200万円の設備投資への支援や、その他に敷地造成支援を行うとあり、収支計画においても1期から2期で2000万円の赤字が見込まれている。植物工場全体の資金計画も立ってなく、また、補助金も確定していない中での支援となっている。補助金については、早くどんな事業補助金を活用するか確定してもらい、また、事業の見通しも立てただけだと安心できるので、そこところをお伝えしていただきたい。



A この計画で実施すると合意したものではありません。あくまでも、美利河地区で事業をした場合の計画をいただいた段階のものであり、補助申請についても現在進めているところです。この計画を進めるかどうかは協議であり、今の段階で赤字が見込まれている事業をそのまま合意できるかは、これからの検討となります。今までにない形で、町内の雇用等を含めた企業誘致となりますので、町民の皆様が不安にならないようなスタートを切りたいと考えております。
(副町長)

◇◆◇これからの防災と財政を考える調査特別委員会を設置◇◆◇

起立表決 賛成(8) 反対(3)

●設置趣旨

本町の防災計画の実施状況等の検証並びに防災対策を推進するには多額の費用を要し、町財政に及ぼす影響が大きいことから、これらを網羅する組織として、議長を除く全員で構成する「これからの防災と財政を考える調査特別委員会」を設置し、これに付託の上、調査研究が終了するまで閉会中の継続調査とした。

●これからの防災と財政を考える調査特別委員会を開催

第2回定例会において、標記の特別委員会設置を決定し、平成28年6月15日に開催した第1回委員会において、委員長に川上絹子委員、副委員長に村上忠弘委員が選出されました。今後も調査を重ね、その結果を議事に報告書として提出いたします。



【第1回特別委員会の様子】